

かさおか自慢 子ども新聞

じまん

しんぶん

赤い門の大仙院

ぶつしょうざん 松山院 おかげ まいり

十一月一日大仙院で
しようさんにお寺の話
をいろいろしてもらった。



おしょうさんのお話

ふしぎな由来
むかあしむかし(二六九二年)、お金持ちの主人が、病気になった。夢の中で「私をまつればなれる。」と、大山の神様が言った。どこへまつればよいかまよっている。「明日、庭を見ればわかる。」とおつげがあった。朝、庭を見ると、松の木二十本が、みんな同じ方を向いていた。だから名前は「仏松山」。今は、松の木は一本しか生えていない。そして、松の木が向いていた方に、本堂を建てた。お金持ちの主人と

は、政範上人(橋野与左衛門)である。
大仙院の名前は、本元の神様の名前が大山だから、同じ名前だとおそれ多い。そこで、「大山」の「山」に、「にんべん」を付けて「大仙院」とした。だから、この大山様も、「大仙様」と書くそうだ。

**縁日は、毎月
ふるいごよみの24日**

平成27年	大仙院縁日	旧暦
1月14日	水曜日	旧暦11月24日 轉
2月12日	木曜日	旧暦12月24日
3月14日	土曜日	大祭 旧暦正月24日 流
4月12日	日曜日	旧暦2月24日
5月12日	火曜日	旧暦3月24日
6月10日	水曜日	旧暦4月24日
7月9日	木曜日	旧暦5月24日
8月8日	土曜日	旧暦6月24日
9月6日	日曜日	大祭 旧暦7月24日 流
10月6日	火曜日	旧暦8月24日
11月5日	木曜日	旧暦9月24日
12月5日	土曜日	旧暦10月24日 轉

(五年 田中宏樹)

区り会部
地づくり部
岡ち協議部
笠ま協文化子ども新聞部

東西南北から 【花屋さんの話】

縁日には、いつも多くの人に来ていますね。じつは、笠岡市いがいからも来ています。お聞きすると、東は倉敷、玉島、金光まで。西は、福山、尾道まで。北は、矢掛、井原からも車や電車でおまいりに来られています。

(三年 森兼 慧)

おまいりのし方

(四年 岡本拓真)

一 1じぶんのついで

神様の方を向いて鐘を一回つき、おまいりに来たことをつける。



おまいりしよう

だいせんさま

今年の縁日で土、日曜日になる日は、三月十四日(土)、旧正月大祭り、四月十二日(日)、八月八日(土)、九月六日(日)旧地ぞうぼん祭り、十二月五日(土)ちごまいりなどです。おまいりに来て楽しい日は、旧正月大祭り、ちごまいりです。三月と九月の大祭りでは笠岡市内のお坊さんが二十人も集まるのでとてもにぎやかになるそうです。(五年 森兼 惇)



おまいり

縁日のおみせ

【植木屋さんの話】

二十四歳のころから植木を売るため井原から来て、今年で四十三年間通ったことになるよ。昔はササキ通りのはしから笠原鉄工所の辺りまで植木のお店がならんでいたよ。今はどこの土地にも大仙院というお寺があるけど、とくに笠岡のお祭りが一番にぎやかで人氣があつて有名だよ。

(五年 森兼 惇)

【お店の人の話】

大仙院の縁日を楽しみに月に一度おしゃべりをしに来られます。いつもの元氣な人に会えるのがとてもうれしいです。また買い物の人もたくさん集まってくるので、おかげで品物もたくさん売れます。お客さまは「福の神」です。縁日は、月に一度の楽しい日です。

(四年 岡本拓真)

二 おごらひ

手を合わせて今までのお礼とお願いをする。手はたたかない。



三 おねがい

病気やけがをしないようにけむりをかけて、おまじないをする。



四 おきよめ

お札に水をかけて、元氣でありますようにと、おいのりする。

